

7/13(土)・14(日)

くりはし夏祭り開催

荘厳で豪快な八坂神社大神輿。栗橋地域で親しまれ受け継がれています。大神輿と阪東太鼓の競演も見応えたっぷりです。地元の人たちの手づくりの付け祭りは、太鼓や流しおどりなど見所満載です。

本年は特別に7月7日(日) (16時～18時) も大神輿の渡御を行います。

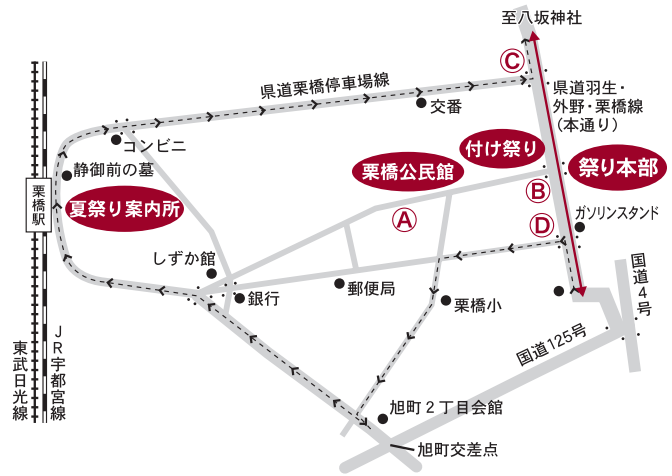
問合せ 久喜市栗橋観光協会 (栗橋総合支所環境経済課内／内線245)

7月13日(土)

内容	時間	場所
園児みこし・太鼓	17時～18時	本部前
大神輿	18時～21時30分	本通り
流しおどり	20時～21時	本通り
阪東太鼓	18時45分～19時30分 21時～21時30分	本部前
栗橋ソーラン	19時30分～20時	本部前

7月14日(日)

内容	時間	場所
大神輿	18時～21時30分	町内一巡
納涼フェスティバル	19時～21時30分	本部前
阪東太鼓	19時30分～21時	栗橋駅東口



← 7月13日(土)の大神輿渡御 (往復)
 >---> 7月14日(日)の大神輿渡御

※お越しの際は鉄道等をご利用ください。

交通規制のお知らせ

車両等の進入禁止にご協力をお願いします。

- ①～②：両日ともに 16時～21時45分
- ③～④：7月13日(土) 16時45分～21時45分
7月14日(日) 18時～21時45分

栗橋地区の西大輪神社では、7月28日(日)に、約300年前から伝えられる獅子舞が行われます。

この獅子舞は、五穀豊穡・病魔退散・悪病除けを祈念し、村の辻々を清めるように行われます。かつては7月24日に村内の各神社仏閣や村の境、25日に民家の庭で舞われていました。現在は、毎年7月25日に近い日曜日に、西大輪神社・雷電社・稲荷社・胡祿社・金比羅社などで舞うとともに村回りを行っています。



田の緑が色鮮やかになるこの時期は、市内のあちらこちらで笛や太鼓の音が鳴り響き、祭りの季節の到来を告げます。

連載 久喜歴史だより (第21回) 西大輪の獅子舞

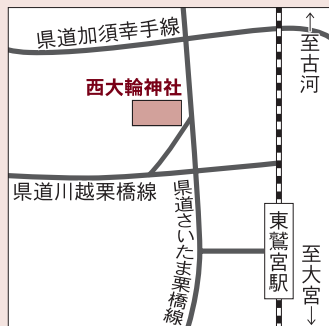


く、また、この時期は疫病がはやりやすいため、疫病除けの願いを込めて獅子舞を行うと考えられています。

獅子は、大獅子・中獅子・女獅子からなり、ほかに笛方・歌方・道化・万灯の諸役があります。曲目は、門掛り・すりこみ・もんぜん・花・弓・橋掛り・女獅子隠しとよばれるものなどがあり、勇壮な舞です。

西大輪の獅子舞は、貴重な民俗芸能として、昭和52年(1977)7月18日に旧鷺宮町の指定文化財に指定されています(現在は市指定文化財)。

なお、獅子舞は竹で作った籠という楽器を使うことから、地元では親しみを込めて「ささら」と呼ばれることが多いようです。一度、市内に残る郷土芸能に触れてみてはいかがでしょうか。



問合せ 文化財保護課文化財・歴史資料係 (内線4323)